

平成 27 年度決算

1、はじめに

平成 27 年度は、既存建物並びに医療機器等の経常的な修繕と更新に加えて、葛飾医療センターの別館建設と西新橋地区再開発の着手に必要な資金を賄える決算を目指して運営されましたが、各機関の経営効率化努力により、基本金組入前当年度収支差額（利益）は予算を上回る結果となりました。

2、資金収支計算書

施設・設備関係支出は 98 億円でした。主な内容は、建設仮勘定 62 億円（内、西新橋再整備支出 56 億円）、医療器械 16 億円、建物 11 億円、教具 4 億円でした。
前年度繰越金は 496 億円でしたが次年度繰越金は 536 億円となり、繰越金は 40 億円増加しました。

3、事業活動収支計算書

収入の部は、医療収入の増加により前年度比 17 億円増加の 999 億円となりました。
支出の部は、医療経費・減価償却費・人件費は増加したものの、消耗品費・光熱水費が抑えられ、前年度比では 11 億円増加の 945 億円となりました。
この結果、基本金組入前当年度収支差額（利益）は 54 億円となり、予算を達成しました。

4、貸借対照表

純資産の部の増加 54 億円と長期借入金の増加 30 億円の合計 84 億円の内、49 億円は現金・預金・有価証券に存置されました。残り 35 億円とその他の収支 6 億円が、固定資産（建物・建設仮勘定・医療器械・一般備品）の増加 41 億円に充当されました。
自己資金の合計は 1,389 億円で、自己資金比率は 72%となりました。

5、決算開示方法について

平成 16 年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットのホームページでの決算報告は、文部科学省への届出フォームで開示しております。

以上